

群馬県地域づくり協議会について

加盟団体
随時募集

入会費・年会費 無料

群馬県地域づくり協議会は
群馬の未来を共に創るためのプラットフォームです。

地域づくり活動を行う団体や個人を応援し、
顔の見える繋がりづくりをおこなっています。

<https://www.pref.gunma.jp/04/b1510056.html>



目次

- 1. 「群馬県地域づくり協議会」基本概要について
- 2. 協議会が目指すこと・役割・活動について
- 3. 2023年度の協議会活動について
- 4. 参考情報

「群馬県地域づくり協議会」成り立ちについて

(背景) “地方分権時代”の到来を受けて…

■行政・自治体としての協議会

群馬県地域開発推進協議会
(当時：県内70市町村)

■民間団体としての協議会

群馬県地域づくり推進協議会
(当時：民間60団体)

平成10（1998）年7月

群馬県地域づくり協議会

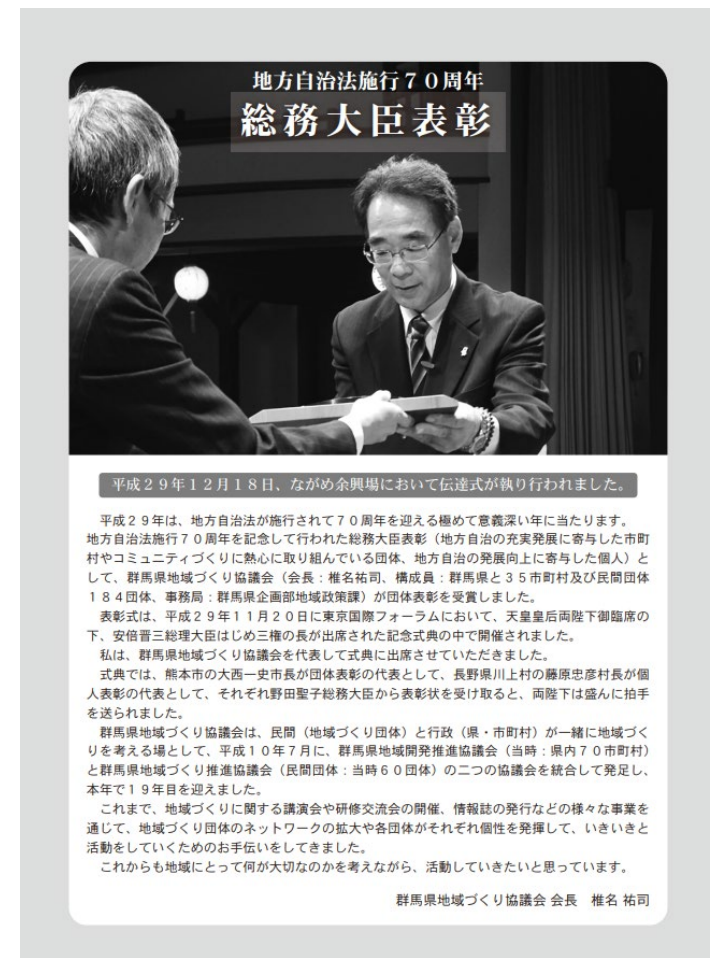
発足

【協議会の特徴】

- 基礎自治体と民間団体が一体の協議会運営
- 群馬県が事務局を担当

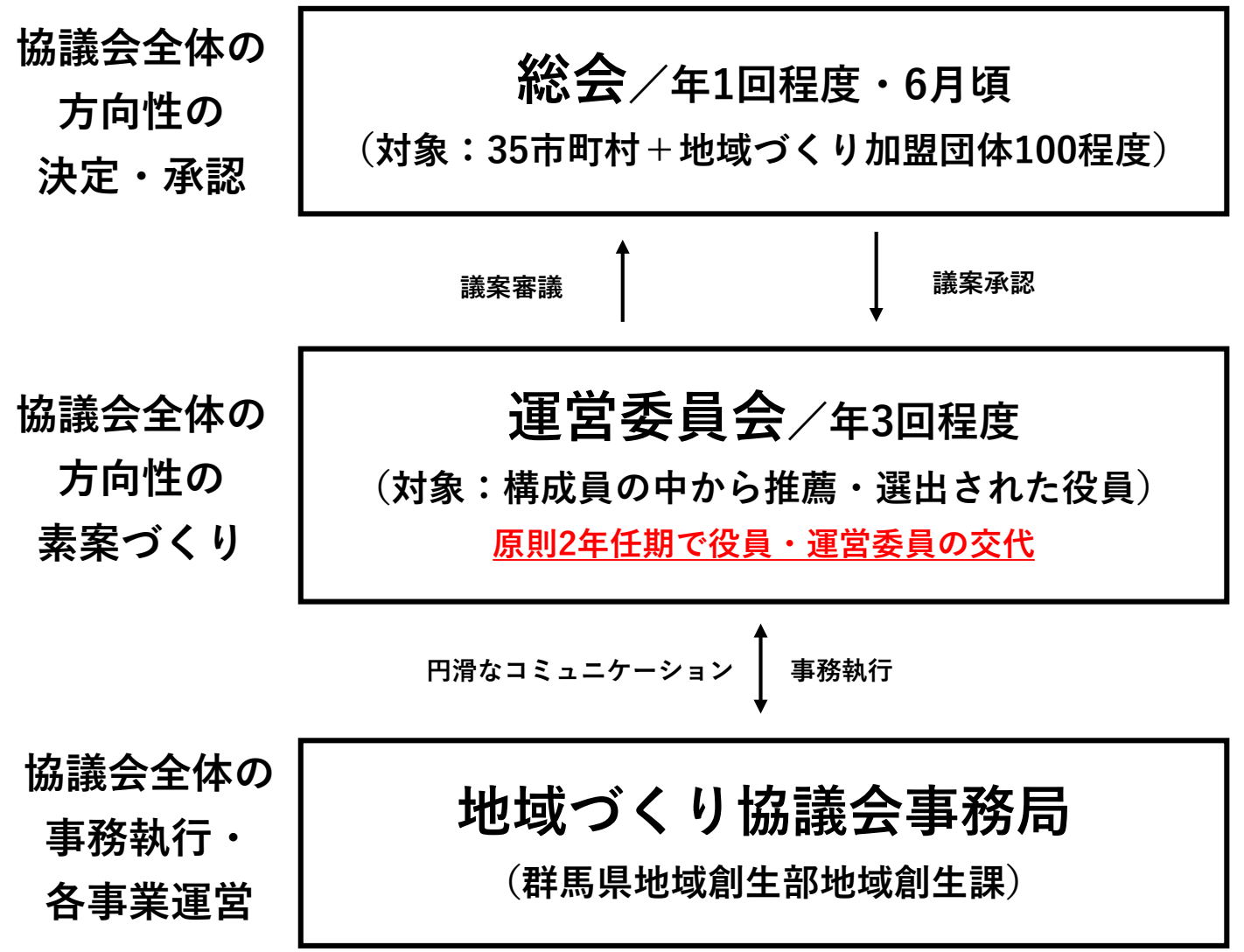
「群馬県地域づくり協議会」これまでの経緯

- 平成10（1998）年7月 群馬県地域づくり協議会発足
- 平成10（1998）年7月 地域づくり講演会 開始
- 平成12（2000）年1月 地域づくり実践講座 開始
- 平成13（2001）年2月 地域づくり団体全国研修交流会
群馬大会 開催
- 平成16（2004）年 群馬ふるさとづくり賞 開始
- 令和04（2022）年4月 会長・副会長の交代
前会長・前副会長の顧問就任



平成29（2017）年、地方自治の充実発展に寄与したことが評価され「総務大臣表彰」を団体として表彰いただきました

「群馬県地域づくり協議会」組織図・体制



【協議会規定】

運営委員は、原則2年任期。

役員配置は、下記の通り。

- 会長 1人
- 副会長 3人
- 監事 2人

役員・運営委員・事務局体制（2023年度）

NO.	役職	所属	備考
1	会長	NPO法人DNA	地域づくり団体
2	副会長	まきばプロジェクト	地域づくり団体
3	副会長	太田市地域総務課	
4	副会長	群馬県地域創生課	
5	監事	高崎市企画調整課	
6	監事	甘楽町企画課	
7	運営委員	NPO法人ながめ黒子の会	地域づくり団体
8	運営委員	街づくり市民ゼミナール	地域づくり団体
9	運営委員	未来塾	地域づくり団体
10	運営委員	信愛えんがわカフェ	地域づくり団体
11	運営委員	高崎わたしばなし制作実行委員会	地域づくり団体

NO.	役職	所属	備考
12	運営委員	NPO法人Mam's Style	地域づくり団体
13	運営委員	一般社団法人KiKi	地域づくり団体
14	運営委員	手づくりの輪	地域づくり団体
15	運営委員	前橋市市民協働課	中部
16	運営委員	榛東村企画財政課	中部
17	運営委員	藤岡市地域づくり課	西部
18	運営委員	南牧村総務部	西部
19	運営委員	嬭恋村未来創造課	吾妻
20	運営委員	川場村むらづくり振興課	利根沼田
21	運営委員	館林市市民協働課	東部
22	運営委員	邑楽町企画課	東部

目次

- 1. 「群馬県地域づくり協議会」基本概要について
- 2. 協議会が目指すこと・役割・活動について
- 3. 2023年度の協議会活動について
- 4. 参考情報

「群馬県地域づくり協議会」が果たす役割と目指すこと

“目指す” “理想の”地域社会

地域の自然や風土を活かして、
一人ひとりの日常と未来が豊かになるために、
立場・肩書を越えて、地域づくりに溢れる群馬県

役割・存在意義

群馬の未来をともに創るためのプラットフォームです。
地域づくり活動を行う団体や個人を応援し、
顔の見える繋がりづくりを行う協議会です。



協議会としての4つの活動

1

相互交流を通じて地域づくりを学ぶ

研修交流事業

2

地域づくりを行う団体・人を伝える

情報発信事業

3

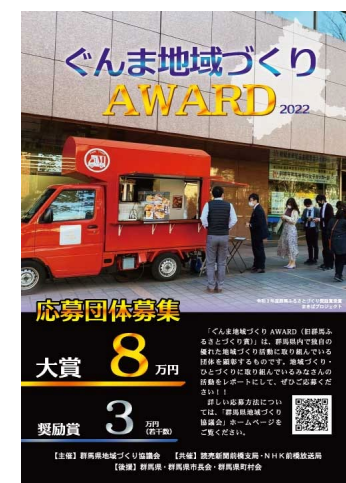
地域づくりを行う団体・人を応援する

地域づくり顕彰事業

4

協議会運営を通じてこれからの地域づくりを考える

その他



1

相互交流を通じて地域づくりを学ぶ
研修交流事業

○「地域づくり講演会」
(毎年7月頃)

○「地域づくり実践講座」
(毎年2月頃)

令和元年度 群馬県地域づくり協議会 地域づくり講演会

リーダーはヒーロー
～人を巻き込む
コミュニティのつくり方～じゃなくていい

令和元年7月1日(月)
群馬県庁2階ビジターセンター 14:30～16:00(開場 14:00)

講師
須藤か志こ氏 夏堀めぐみ氏
クヌネ代表 クヌネ代表

参加無料
定員100名

2014年「会いに行きたい人がいる街、朝霧」を企画発起するため、「クヌネ」を設立。もう1回会ってみたいという体験をさせてくれる人を発起し、実際に会ってもらい、その人がいるからもう1回、そんな街をデザインしたいと、魅力ある人を発起するサイト「クヌネ」を開発し、「クヌネ人」として紹介している。魅力ある人に実際に会い、一日二日の「ひとめぐりTOUR」を開催。青森1や大学の先方による団体と連携し、街づくりについて市民が気軽に集まって、議論、交流できる場である「クノロー・シャル大学」を設立。

令和元年度 地域づくり団体活動支援事業

平成30年度群馬県地域づくり協議会 地域づくり講演会

公を助ける民
- 公民連携事業 -

食 楽 暮 泊 銀 学

平成30年7月2日(月) 参加無料
定員100名

群馬県庁2階ビジターセンター 14:30～16:00

講師
岡崎正信氏
株式会社オガサ 代表取締役 / オガサグループ株式会社 代表取締役
オガサセンター株式会社 代表取締役 / 一般社団法人公民連携事業推進機構 理事
内閣府地域活性化 広聴部

1972年若手県政界出身。日本大学理工学部土木工学科卒、東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻修了。
地域振興整備公団(現:都市再生機構)入団後、建設省都市局都市政策部などで地域再生部に従事。現在はオガサグループプロジェクトの専従であるオガサグループ、オガサグループ(オガサベース)、オガサセンター一般代表取締役として、県政の公民連携事業を企画推進している。同プロジェクトは、「2013年土地活用モデル大賞」において、最高賞の国土交通大臣賞を受賞するなど、注目を集めており、全国各地の地域づくり指導・講演活動に奔走している。2018年地学学会賞業績賞受賞。

平成30年度地域づくり団体活動支援事業

平成30年度群馬県地域づくり協議会 地域づくり実践講座

女性が輝く
地域づくり

2019年1月22日(火) 参加無料
定員100名

群馬県庁2階ビジターセンター 14:00～16:00

講師
長谷川 恵理子氏 野菜ソムリエ 上級プロ
3期1次の子育てをしながら、野菜ソムリエ上級プロの資格を取得。コミュニティ・セルフトライザー、群馬県農村生活アドバイザー、和歌山アドバイザーの認定を受け、食農教育の講師や食生活などでの野菜レシピ紹介をするなど幅広く活動中。女性ならではの視点で農業や野菜の魅力を広げ、発信。

今村 井子氏 子どもの食育推進委員会 委員長
2013年ママたちとNPO法人を立ち上げ、子育て支援に従事。安中市にミニファーマリーサポートセンターを開設。2016年子ども食育をスタート。現在「子どもの食育実践委員会」委員長として活動中。群馬子どもの食育推進委員会 副会長。

第一部 事例発表 14:05～14:50
長谷川 恵理子氏(野菜ソムリエ 上級プロ)
今村 井子氏(子どもの食育推進委員会 委員長)

第二部 パネルディスカッション 15:00～16:00
コーディネーター:杉原 みち子氏(群馬県地域づくり協議会 副会長)
パネリスト:長谷川 恵理子氏・今村 井子氏

平成29年度 地域づくり実践講座

若者を中心とした
地域活力の引き出し方
～地域価値の活用事例を通して～

群馬県地域づくり協議会では、地域づくりの手法や取組について学ぶ機会として、地域づくり実践講座を開催します。是非御参加下さい。

平成30年2月8日(木) 14:00～15:30
(受付開始 13:30～)

会場 群馬県庁2階ビジターセンター

参加費 無料(定員100名)
※定員になり次第締め切りとさせていただきます

申込方法 チラシの申込用紙をFAX・メールまたは郵送でお申し込みください

申込締切 平成30年2月5日(月)

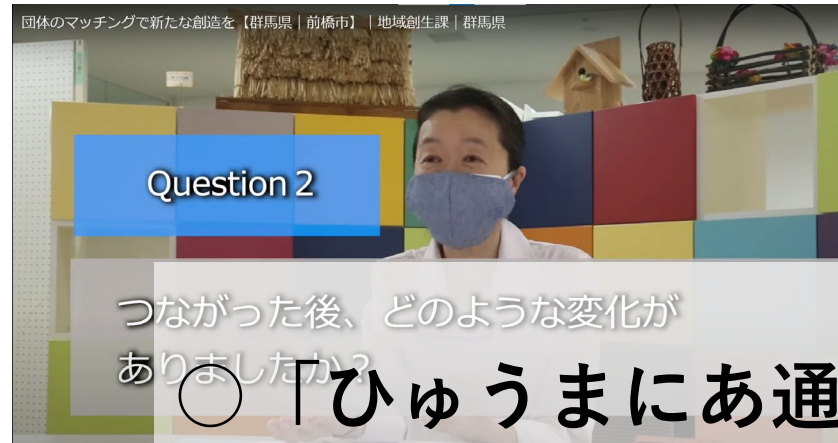
東北学院大学 教養学部 地域構想学科 教授 柳井 雅也 氏

1958年宮城県仙台市生まれ。福島大学経済学部卒業、法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻修士課程修了。岡山大学助教授、富山大学経済学部教授を経て2005年4月より、東北学院大学教養学部地域構想学科教授、経済地理学を専門とし、地域経済論や地域づくりが主な研究テーマ。多賀城市復興構想会議会長、地域づくり団体全国協議会幹事等。
著書・現代の地域産業振興策(共著、ミネルヴァ書房)・地域産業の再生と雇用・人材(共著、日本評論社)等

お申し込み・お問い合わせ先
群馬県地域づくり協議会(群馬県金吾町地域政策課内) 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
TEL: 027-226-2352 FAX: 027-243-3110 E-mail: chikaika@pref.gunma.lg.jp

2

地域づくりを行う団体・人を伝える 情報発信事業



○「ひゅうまにあ通信」発行（年1回）

○群馬県地域づくり協議会ホームページ

群馬県地域づくり協議会

「群馬県地域づくり協議会」は、13協議会が連携し、それぞれの地域づくり活動を通じて、相互の交流及び連携を行っています。

また、メールマガジンやフェイスブックにて、イベント情報を配信。YouTubeの群馬県チャンネル「Tsulunos」を活用し、当協議会のイベント事業や団体活動の動画配信を行っています。

イベント事業[4月1日更新]

- 令和3年度「地域づくり実践講座」観覧団体募集（終了しました）
- 令和4年度「ぐんま地域づくりAWARD」応募団体募集！
⇒令和3年度「群馬ふるさとづくり賞」が決定しました
⇒過去受賞一覧
- 群馬ふるさとづくり賞受賞団体の事例発表（注※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）
・ 地域づくり協議会のイベント動画一覧

○Facebook・note・メールによる情報発信

3

地域づくりを行う団体・人を応援する

地域づくり顕彰事業

■名称■ ぐんま地域づくりAWARD2023（旧：群馬ふるさとづくり賞）

■対象団体■ 地域住民が自主的に結成、運営している地域活動団体、
又は地域活動団体と積極的に連携して地域づくり活動に
取り組んでいる企業、商店街、学校等で、
2年以上活動して大きな成果をあげているもの。

■各賞・副賞■ 大賞 8万円、奨励賞 3万円（若干数）

■応募方法■ 応募用紙／応募レポート／写真／その他資料

■提出期限■ 令和5年4月25日（火）必着

■提出方法■ メール、または郵送

■審査・発表■

書類及び審査会でのプレゼンテーションにより審査。（6月22日（木）予定）

－審査観点：地域づくり団体：「主体性」「地域性」「継続性」「先駆性」

－審査観点：企業、商店街、学校等：「先駆性」「地域性」「公益性」「協働性」

■結果発表・表彰等■ 審査結果は応募団体あてに通知いたします。（6月下旬予定）

受賞団体を（公財）あしたの日本を創る協会主催「あしたのまち・くらしづくり活動賞」に推薦いたします。

ぐんま地域づくりAWARD 2023

大賞 8万円 奨励賞 3万円 (若干数) レポート募集

ビジョン ひとりで抱えずに、優しいつながりが、温かい社会をつくる

理念 ひとりひとりの思いが尊重される 支えあつながりになる

令和4年度奨励賞 大間々高等学校

令和4年度大賞 NPO法人ソニリッサ

ぐんま地域づくりAWARDは、群馬県内で独自の優れた地域づくり活動に取り組んでいる団体を顕彰するものです。地域づくり・ひとづくりに取り組んでいるみなさんの活動をレポートにして、ぜひご応募ください!!
詳しい応募方法については、「群馬県地域づくり協議会」ホームページをご覧ください。

【主催】群馬県地域づくり協議会 【共催】読売新聞前橋支局 / 日本放送協会前橋放送局
【後援】群馬県 / (予定)群馬県市長会・群馬県町村会

協議会運営を通じてこれからの地域づくりを考える

4

その他

- 総会・臨時総会（年1回程度）
- 運営委員会（年2－3回程度）
- 市町村説明会・市町村職員情報交換会（年2－3回程度）
- ぐんま地域づくりAWARD表彰式（年1回）
- 地域づくりに係わる情報提供（随時）
- 地域づくり団体等活動支援事業の活用（随時）

目次

- 1. 「群馬県地域づくり協議会」基本概要について
- 2. 協議会が目指すこと・役割・活動について
- 3. 2023年度の協議会活動について
- 4. 参考情報

2023年度 さらに力を入れる3つのこと

①

地域づくり団体の横のつながり創出によって活動を後押し

オンライン交流会の拡大実施

本日の説明会で
特に皆様に受け取って
いただきたい情報です！

②

行政職員の横のつながり創出によって地域づくりの担い手を後押し

市町村職員向け研修・情報交換ワークショップ

③

③地域づくり団体と基礎自治体のつながり創出によって相談できる関係を

連絡体系の変更について

1

地域づくり団体の横のつながり創出によって活動を後押し

オンライン交流会の拡大実施

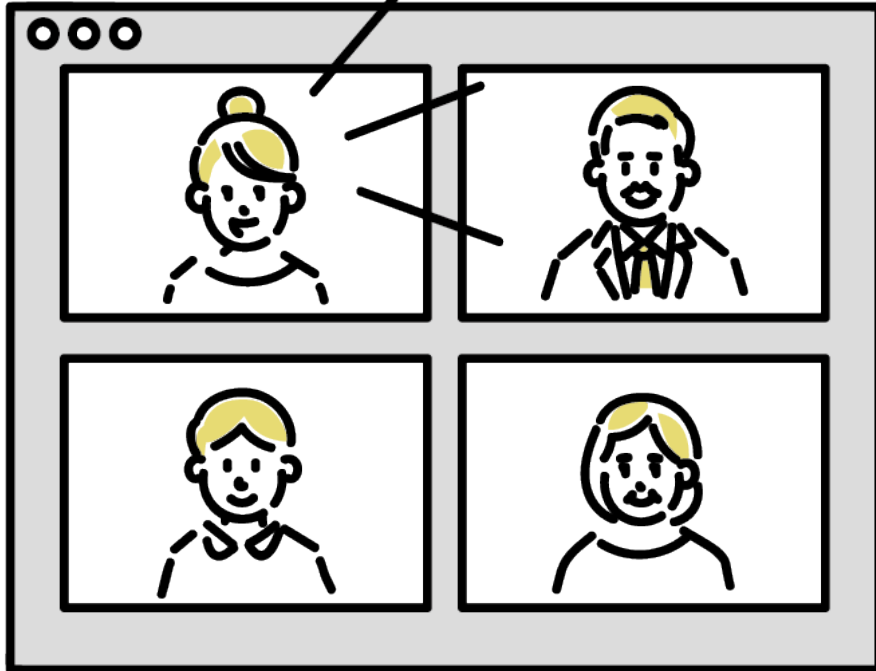
県内4地域（中部・北部・西部・東部）＋全県域

計5地域でそれぞれ開催する
地域づくりネットワーク



2022年度からスタート

今年度は、全県域と中部地域

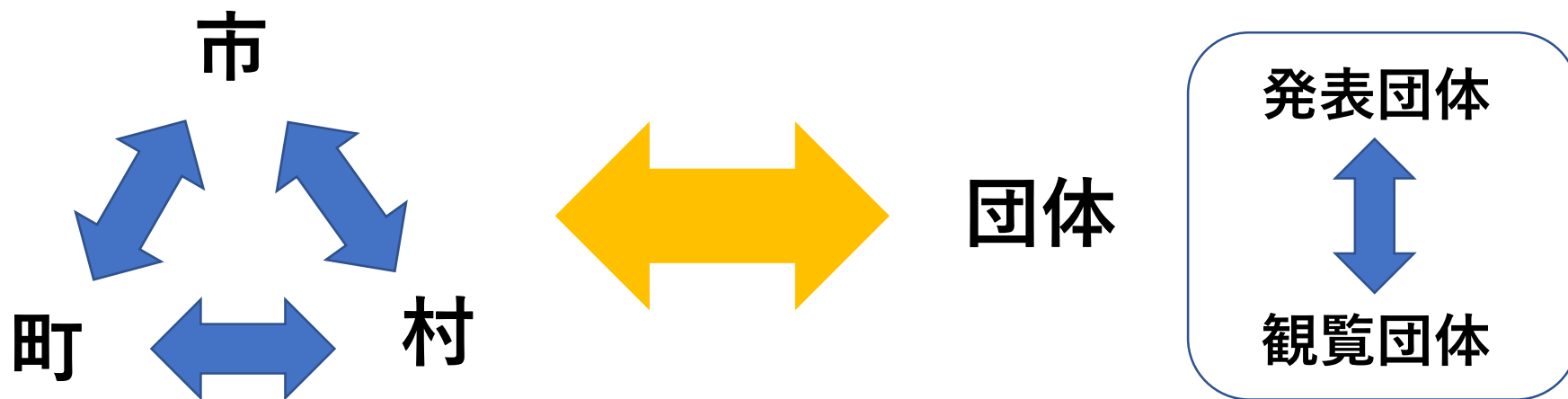


①

地域づくり団体の横のつながり創出によって活動を後押し

オンライン交流会の拡大実施

- 目的 **地域づくり団体・行政職員の垣根を越えたつながりづくり**
- 内容 **オンライン(Zoom)を活用した交流会**
- 運営 **各地域は市町村担当者を中心として実施**



行政職員の横のつながり創出によって地域づくりの担い手を後押し

2

市町村職員向け研修・情報交換ワークショップ



市町村職員向けの研修会・WS

- 5月頃：新担当者向けの研修
- 9月頃：地域づくり情報交換WS



**2022年度からスタート
9月頃に開催いたします！**

行政職員の横のつながり創出によって地域づくりの担い手を後押し

2

市町村職員向け研修・情報交換ワークショップ

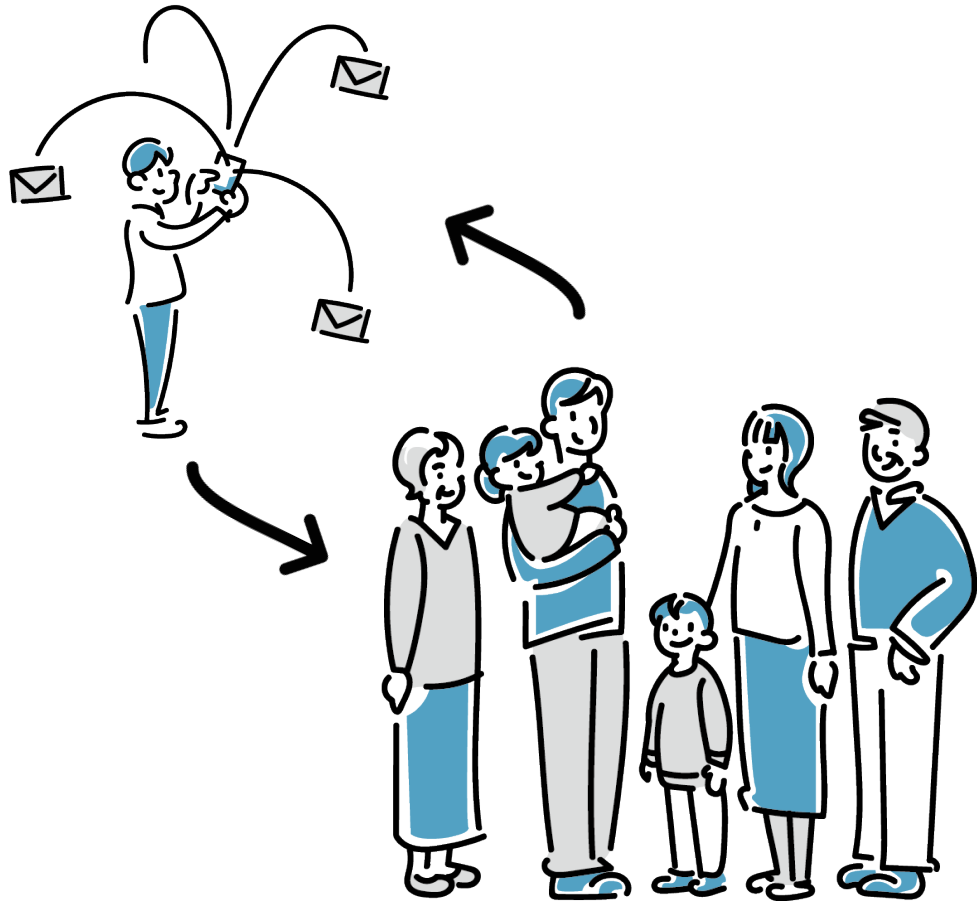
- ① 開催1ヶ月程前に**質問**を送付
- ② ①の**質問**をまとめ**課題・テーマ**について送付
- ③ ②についての**課題・テーマ**を**発表**
- ④ 発表いただいた内容についてグループに分かれてWS

3

③地域づくり団体と基礎自治体のつながり創出によって相談できる関係を

連絡体系の変更について

協議会に加盟する地域団体への
連絡体制の一本化



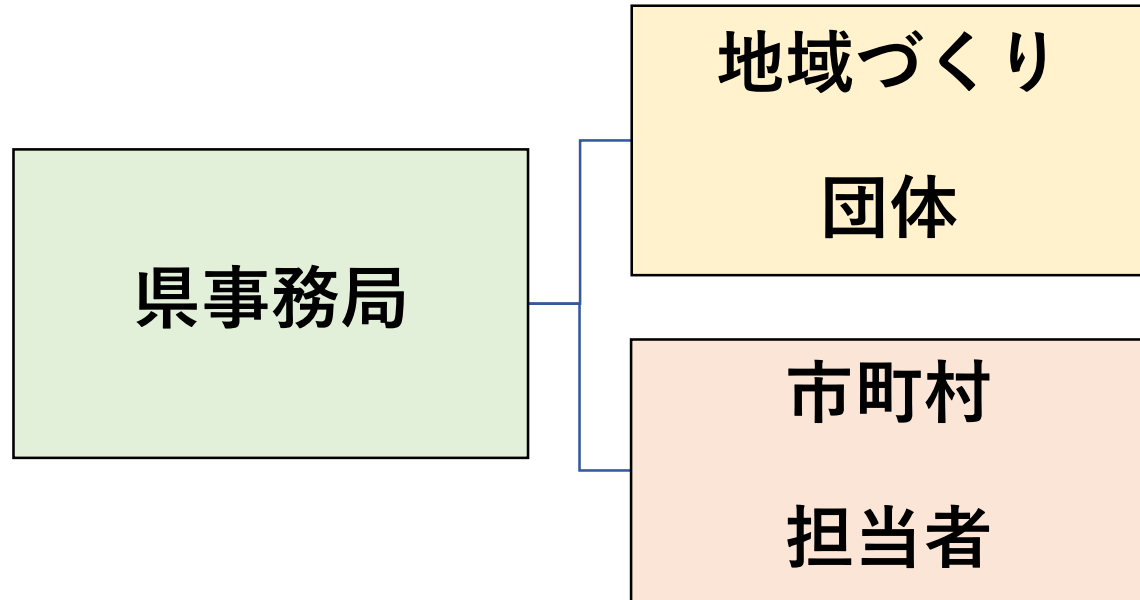
2023年度からスタート
直接、各市町村が加盟団体と
やり取りする仕組みを整える

③地域づくり団体と基礎自治体のつながり創出によって相談できる関係を

3

連絡体系の変更について

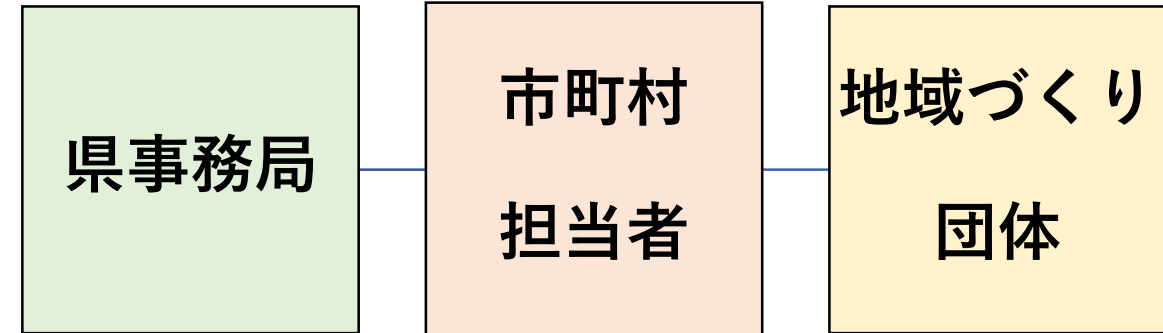
現状



県事務局から双方に連絡

市町村担当者と地域づくり団体の接点無し

新体制



県事務局→市町村担当者→地域づくり団体への

連絡一本化

市町村担当者と地域づくり団体の接点有り

目次

- 1. 「群馬県地域づくり協議会」基本概要について
- 2. 協議会が目指すこと・役割・活動について
- 3. 2023年度の協議会活動について
- 4. 参考情報

参考：これまでの「研修交流事業」について

○「地域づくり講演会」（毎年7月頃）について

年度	日時	テーマ	講師等
2023年		7～8頃開催予定	
2022年	11月30日	魅せる地域づくりのデザイン	Studio-L 代表山崎 亮
2021年 ～20年		—	
2019年	7月1日	リーダーはヒーローじゃなくてもい〜人を巻き込むコミュニティの作り方〜	クスろ 前代表 夏堀めぐみ 現代表 須藤か志こ
2018年	7月2日	公を助ける民	オガールプラザ代表取締役 岡崎正信
2017年	7月3日	凹凸地形が奏でる町の魅力〜町の魅力を再発見する手法について〜	東京スリバチ学会 皆川 典久
2016年	6月29日	広域連携によるグリーンツーリズム	(有)ひまわり亭代表取締役 本田 節
2015年	7月2日	子どもの貧困と食のセーフティネット事業	(NPO)フードバンク山梨 理事長 米山 けい子
2014年	7月4日	市民協働によるまちづくり	神奈川県厚木市長 小林 常良
2013年	7月1日	もったいないぞ”道の駅”〜地域活性化の知恵を学ぶ〜	(株)ちば南房総取締役 加藤 文男
2012年	6月29日	地域の力を引き出す5つの法則	食総合プロデューサー 金丸 弘美

年度	日時	テーマ	講師等
2011年	7月1日	心に響くPR	TMオフィス代表取締役社長 殿村 美樹
2010年	6月29日	やる気を起こせば、必ず奇跡が起こる！！	鹿児島県鹿屋市柳谷公民館長 豊重 哲郎
2009年	6月30日	足元の宝を見つめて暮らしをデザインする	(株)他郷阿部家代表、 (株)石見銀山生活文化研究所所長 松場 登美
2008年	6月30日	若者を主人公に〜地域活性化の挑戦・体験から	WWB／ジャパン 代表 奥谷 京子
2007年	6月25日	スポーツと地域づくり	学校法人新潟総合学院 理事長 池田 弘
2006年	6月27日	私が考える新たな地域農業〜生産するだけが農業ではなく、お客様の口に入るまでが農業〜	グリーンリーフ株式会社 代表取締役 澤浦 彰治
2005年	6月27日	自立に向けた「まちづくり戦略」	千葉県我孫子市長 福嶋 浩彦
2004年	6月25日	地域の元気をつくる仕組みづくり〜コミュニティビジネスの起業家育成と中間支援組織の役割〜	都岐沙羅パートナーズセンター 大滝 聡
2003年	12月19日	学校教育における農山村体験の促進について	日本総研研究員 矢ヶ崎 紀子

参考：これまでの「研修交流事業」について

○「地域づくり実践講座」（毎年2月頃）について

年度	日時	テーマ	講師等
2023年		1~2月頃開催予定	
2022年	3月15日	地域づくりネットワーク 県域	プレゼンテーション 8 団体
2021年	2月4日	オンラインde地域づくりネットワーク	NPO組織基盤強化コンサル タントoffice musubime 河合 将生
2020年	1月29日	Withコロナ今こそ、出来る地域に必要なソーシャルアクション	まきばプロジェクト 秋山 麻紀
2019年	2月7日	まちぐるみでひとを育てる地域とは-学び合うコミュニティづくりを通じた地域人材育成の仕組み-	NPO法人DNA (Design Net-works Association) 沼田 翔二郎
2018年	1月22日	女性が輝く地域づくり	野菜ソムリエ上級プロ 長谷川 恵理子 子どもワクワク食堂実行委員会 今村 井子
2017年	2月8日	若者を中心とした地域活力の引き出し方～地域価値の活用事例を通して～	東北学院大学 教養学部 地域 構想学科 教授 柳井 雅也
2016年	1月31日	地域資源を活かしたまちづくり・人づくり	下仁田町副町長 吉弘 拓生
2015年	1月27日	三鷹市が進める参加と協働によるコミュニティ創生	東京都三鷹市長 清原 慶子

年度	日時	テーマ	講師等
2014年	1月26日	人口減少時代の地域力～今、地域に求められているもの～	株式会社日本総合研究所調査員 主席研究員 藻谷 浩介
2013年	1月27日	MAD City、非常識なまちづくり	株式会社まちづくりエイティブ 代表取締役社長 寺井 元一
2012年	2月5日	Be Creativeで地域活性！	(株)シーアイセンター 代表 取締役プロデューサー 甲賀 雅章
2011年	2月2日	足利市からつくる新しい未来	足利市長 大豆生田 実
2010年	2月2日	地域づくりは人づくり～学生と共に創ろう地域の元気～	高崎経済大学副学長 大宮 登
2009年	11月12日	○視察研修 ○矢祭町内各施設視察 (もったいない図書館・SMC株式会社・矢祭ニュータウン・特養ユーアイホーム)	福島県矢祭町前町長 もったいない図書館長 SMC株式会社工場長 特養ユーアイホーム長 根本 良一
2008年	1月22日	住民とともにつくるまちづくり～矢祭町の改革から学ぶ～	福島県東白川郡矢祭町前町長 根本 良一
2007年	11月2日	中之条町の現状と中之条ビエンナーレについて	中之条町長 入内島 道隆
2006年	11月29日	次世代につながるまちづくり～越後妻有アートトリエンナーレ2006～	アートフロントギャラリー 代表 北川 フラム

参考：これまでの「地域づくり顕彰事業」について

○エントリー数、および受賞者について

年度	エントリー数	大賞	奨励賞
2023年		応募締切ました	
2022年	19	NPO法人ソンリッサ	・群馬県立大間々高等学校 ・NPO法人Mam's Style
2021年	3	—	まきばプロジェクト
2020年	4	リンカーズ	野外活動グループ「稲含塾」
2019年	7	NPO法人DNA	・沼田市立白沢中学校 ・とまり木
2018年	8	がんばるお母さん支援支援itoko	・おおた・まちの先生見本市 実行推進協議会 ・子どものくらしを守る会
2017年	4	利根沼田学校組合立利根商業 高等学校パソコン部	群馬県立伊勢崎興陽高等学校
2016年	5	北橘地区竹の里づくり協議会	岩倉自然公園水辺の森を愛する会
2015年	3	みどり市観光ガイドの会	・シニアトロールの会 ・白井宿管理組合
2014年	3	利根実業高等学校生物生産科 食品文化部	・渋川市たちばな竹の里フェス ティバル実行委員会 ・NPO法人渋川地域のづくり協議会

年度	エントリー数	大賞	奨励賞
2013年	5	殖蓮地区自然環境を守る会	NPO法人ヒューマンコミュニケーション
2012年	3	桐生からくり人形芝居保存会	うすいの歴史を残す会
2011年	6	光のページェント実行委員会	北橘町大蛇久保竹の子会
2010年	4	宮田ほたるの里を守る会	—
2009年	7	・エンジョイネットワーク片品 ・みのわの里のきつねの嫁入 り実行委員会	富岡製糸場を愛する会
2008年	5	NPO法人時をつむぐ会	・粕川フラワーロードの会 ・中之条観光ガイドボランティアセンター
2007年	6	地域づくり団体未来塾	・NPO法人ヒューマンコミュニ ケーション ・甘楽・富岡子どもと本の会
2006年	13	NPO法人新里昆虫研究会	・甘楽町27区 ・金島地区楽しいまちづくり推進委員会 ・NPO法人街・建築・文化再生集団 ・サンデンファシリア株式会社
2005年	7	・ねどふみの里保存会	・富岡げんき塾 ・市街地活性化研究会
2004年	9	郷土を美しくする会	・大型菱町かるた作成委員会 ・榛名町